

芸術部（書道・華道・茶道部門）

・部紹介

芸術部は「書道」・「華道」・「茶道」3つの芸術部門を体験できる部活動です。一部門を選ぶ、または三部門で活動することもできます。書道は本校の米谷大河先生、茶道は齋藤美子先生、華道はいけばな小原流の伊藤豊扇先生が優しく指導していただきます。

・活動について

書道部門では、本校の書道室で各自が課題とするテーマを練習しています。毎年、北高祭や地区の書道展、青森県高校総合文化祭に出品する作品を制作しています。道具等は各自で用意しますが、書道を芸術の選択科目に選んでいる人は、授業で使っているものを使用することができます。皆熱心に頑張っていますが、先輩、後輩の垣根のない和気あい合いとした雰囲気も魅力です。

華道部門は、月1～2回、文化部委員会室で稽古をしています。作品は稽古後に校内に飾ります（自宅に持ち帰ることもできます）。毎年、北高祭ではテーマを決めて書道部門とのコラボ展を開催しています。この他、毎年6月頃に学生いけばな競技会に参加し、2022年には小原流学生生け花大会で全国優勝も果たしています。3年間、稽古を重ねると小原流の免状を取得することも可能です。コーチの伊藤先生は優しく明るいお人柄で、少人数ではありますが、男子部員もいて楽しい雰囲気に満ちています。

茶道部門での活動（お稽古）については、毎週水曜日と金曜日の16:00～17:30に行っています。活動場所は、本校3階の礼法室です。礼法室からの眺めは素晴らしく、季節の変化を直に感じることができます。最も重要な活動は、毎年7月中旬の青北高祭でのお茶会と茶道体験です。その準備とお稽古のため、この時は1週間前から遅い時間まで活動しています。また、7月下旬の中学生の体験入学では、希望者に茶道体験を行っています。7月以降も茶道の上達を目指し、時々お茶会を行い、季節の趣を味わいながら積極的な活動を重ねています。

・メッセージ

「〇〇道」といっても、けっして堅苦しいものではありません。芸術部の部員は、初心者が多く、いずれの部門でも先生がわかりやすく一から教えていますので、安心して活動することができます。抹茶と美味しいお菓子を味わったり、授業では味わえない楽しみを見つけたりと、まずは、体験して回を重ねることで徐々に上手くなっていきます。

3部門とも活動日が毎日ではなく、他部と掛け持ちしている生徒も多くみられます。日本の伝統的な芸術は近年、海外でも人気が高く、知識や技量を身につけておく自分の世界が大きく広がる可能性を秘めています。「書道」「華道」「茶道」に触れて、忙しい日々の生活の中であっても、心を落ち着かせ、自分と向き合う大切な時間を持つことができるのが芸術部の魅力です。

さらに、作品づくりやおもてなしの作法を通して、集中力や優雅な所作、礼儀、美的感覚も養うことができます。少しでも興味のある人は、ぜひ一度活動を見に来てください。